

種名 ベニシジミ



北海道から九州に分布しています。4月～10月に見られます。日当たりの良い道ばたや田畑、堤防によく見られます。幼虫は、スイバやギンギシを食べます。関川の河川敷の、ほぼ全地域に見られます。数の多い種類です。

種名 キタテハ



北海道から九州に分布しています。5～10月に見られます。秋に現れた成虫で、冬を越します。幼虫は、カナムグラを食べます。関川の、河川敷の全地域に見られ、数の多い種類です。

種名 ルリシジミ



北海道から九州に分布しています。4月～10月に見られます。樹林のまわりや人家の庭、草原にすんでいます。幼虫は、フジヤイタドリを食べます。関川の全地域に広くすんでいます。数は少ない種類です。

種名 サトキマダラヒカゲ



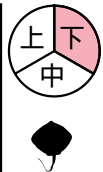
北海道から九州に分布しています。7～8月に見られます。成虫は、竹やぶやササのまわりで、よく見られます。幼虫は、アズマネザサを食べます。今池橋のまわりで、少数が見られました。関川の河川敷では、あまり見られません。

種名 コムラサキ



北海道から九州に分布しています。7～8月に見られ、成虫は、川沿いのヤナギ類によく集まり、樹液を吸います。幼虫は、ヤナギ類を食べます。ヤナギ林の生えているところに見られますが、数はあまり多くありません。

種名 アカエイ (アカエ)



ふつうは、沿岸の浅いところの、砂の底にすんでいて、ゴカイを食べます。時には、河口のところにはまではいってきます。尾の背がわには、1本の、毒のあるトゲがあり、刺されるとひどく痛みます。関川の河口の近くで、見つかりました。もともと海の魚なので、あまり上流には行きません。エイの中ではおいしく、煮付けやみそ汁にして食べられます。